

令和5年度 第3回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和5年6月20日（火）午後6時30分～午後8時00分

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委員> 板倉 しをり 川澄 明美 芝田 美知子 高橋 通郎
谷口 和幸 戸田 博基 中川 隆英 二宮 昇平
野々垣 順子 服部 啓二 羽根田 憲生 本多 鋭孝
三浦 健 渡邊 元
<欠席> 武知 幸雄 永山 慎二
<事務局> 岡本 裕之（拳母事務所長） 山本 祐揮（地域支援課担当長）
川瀬 朋美（地域支援課主査）

■次 第

開会 豊田市民の誓い唱和

- 1 地域会議会長あいさつ
- 2 拳母代表者会議の答申における検討結果について（情報提供）
- 3 市長への提言に向けた協議
- 4 今後の日程について
- 5 事務連絡

■議 事（要約）

2 拳母代表者会議の答申における検討結果について（情報提供）

中川会長及び事務局から答申の検討結果について報告を行った。

3 市長への提言に向けた協議

前回の地域会議で水害の課題についてグループ協議を行った。今回は、課題を解消するために、具体的にどのような取組が必要か議論を行った。

【主な意見】

<自助について>

- ・ハザードマップやマイ・タイムラインを引き続き啓発し、個人の意識を高めていく必要がある。
- ・避難場所については、崇化館中学校や朝日小学校以外に知り合いや親戚宅、浄水中学校なども避難できることを広く啓発していく必要がある。
- ・避難時の持ち物や避難の際モデルケースなどを示し、周知が必要。

<共助について>

- ・避難指示が出ても自助のタイミングがバラバラなため、行動を起こせない方が多い。自治区等の単位で避難行動を示す、避難行動計画が必要でないか。
- ・個人単位で意識づけるのは難しい。自治区や地域の団体の単位で水害の講座を受講してもらうことが効果的ではないか。
- ・高齢者等の要配慮者の把握については、自治区で避難行動支援者の台帳を整備する

必要がある。

- ・自治区で安全な避難場所を確保する。

<その他意見>

- ・避難場所を決めても、直前にならないと避難できない方が多くいる。逃げ遅れた場合に備えて、街中に一時的に避難できる高台の緊急避難場所の確保が必要である。
- ・水害・災害時の相談先が不明確なので、ワンストップ窓口のようなものを設置してはどうか。

4 今後の日程について

今後の日程の確認を行った。

5 事務連絡

わくわく事業2次募集及び諮問・答申のスケジュールについて報告を行った。

以上

《今後の予定》

●令和5年度 第4回崇化館地域会議

日 時：令和5年7月18日（火）午後6時30分～

場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室